

近藤亜樹個展「わたしはあなたに会いたかった」

2023年6月10日(土) - 7月22日(土)



近藤亜樹 《I Love You》 2023, acrylic on canvas, 227.3x363.6cm

「わたしはあなたに会いたかった」

ほんとうに大切な自分の気持ちに
長い間気づくことが出来なかったけれど
ずっと心の中にありました

本能がジタバタと音を立てて
我慢できずに走り出します

そのきもちはとてもシンプルで
とても強くて大きくて
私は描くことで気づいたのです

冬眠から醒めた獣達も
おひさまを追いかける植物も
会いたい人に会えなかった私達も
あたたかさをずっと求めていました

季節が変わって
天の上にいるあなたにも
これから出会うあなたにも
一番近くにいるあなたにも
わたし自身にも
このきもちを素直に伝えたい

「わたしはあなたに会いたかった」

わたしはこの手で未来に会いに行く

2023 年 5 月 近藤亜樹

近藤亜樹は子供の頃から自分が見たいことやものを描いてきた。描き起こすことでイメージの中でそれらに出会い、感動し、世界を理解することができた。絵画は心が還る場所であった。それゆえに近藤は何も描かれていない真っ白なキャンバスを前にすると不安になる。自分はちゃんと会いたい世界を、あたたかな世界を描けるのだろうか。それはいつも孤独な闘いである。繰り返すそのプロセスを近藤は現実の世界に重ね合わせる。長く辛い試練が起こり、私達の心は抑圧される。それでも雪が溶けるように、いつか心の奥底にある誰かに会いたいと思う気持ちは溢れだす。そしてわたしはあなたに会いたかったと気づき、声に出すことができれば、そのこと自体が大きな癒しとなりえるのだ。

本展は 3.6m の大作をはじめ 18 点の新作で構成されている。描かれた人間も植物も動物もぬいぐるみも、みんな誰かに会いたい気持ちを抱えている。家族や友人や目には見えない存在に。そして過去や未来の自分にも。

ますます力強く進化し続ける、近藤亜樹の最新作をどうぞお見逃しなく。

2023 年 5 月 シュウゴアーツ

近藤亜樹個展「わたしはあなたに会いたかった」

会期：2023 年 6 月 10 日(土) – 7 月 22 日(土)

会場：シュウゴアーツ

開廊時間：11:00 – 18:00 日月祝休廊

企画：石井美奈子

出版情報 近藤亜樹『ここにいたんだね』

2023 年初夏発売予定、リトルモア刊

「絵は私が今ここに生きていることを認識させる 私にとって絵は光のかたまりだ」(本文より)

本書は近藤が描き続けている紙作品 84 点を収録。作家の言葉とともに絵をお楽しみいただける一冊です。

近藤亜樹

1987 年北海道生まれ、山形県在住。「描くことは生きることそのもの」と言う近藤の作品は、質量として感じられるほどのエネルギーに満ちている。近藤は自身を通り抜けるいかなる経験や感情をも刻み込むように描くことで、記憶と現在、想像の世界を行き来して絵画という新しい体験を生み出している。キャンバスやパネルに限らず、立体物、壁天井に囲まれた空間にもよどみなく自在に描く。また約 14000 カットからなる油彩アニメーションと実写を組み合わせた短編映画 HIKARI の監督・制作を脚本・コンテから手掛ける力量など、並外れた可能性を示し続ける絵画の申し子である。

主な展覧会に「星、光る」山形美術館（山形、2021）、作品集刊行記念展「ここにあるしあわせ」シュウゴアーツ/ フィリップス 東京/ 現代芸術振興財団（東京、2021）、「高松市美術館コレクション+ 身体とムービング」高松市美術館（香川、2020）、「心に花を」シュウゴアーツオンラインショー（2020）、「あの日を待つ 明日を待つ 今日」シュウゴアーツ（東京、2018）、「絵画の現在」府中市美術館（東京、2018）、「HIKARI」大和日英基金 大和ジャパンハウス（ロンドン、2016）、「HIKARI」シュウゴアーツ（東京、2015）、「近藤亜樹の生態」実家 JIKKA（東京、2013）、「PHANTOMS OF ASIA: Contemporary Awakens the Past」Asian Art Museum（サンフランシスコ、2012）など。2021 年 VOCA 奨励賞受賞。

シュウゴアーツ 106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 5 番 24 号 complex665 2F / 03-6447-2234

プレスに関するお問い合わせ：石井・藤田 gallery@shugoarts.com

◆シュウゴアーツアーティスト情報はこちらをご覧ください：<http://shugoarts.com/topics/>